

北一明 略年譜・著書・主な収蔵先

【略年譜】

1934年 11月14日、長野県飯田市に生まれる。

法政大学および同大学院を修了後、いくつかの職業に就く。

陶芸評論家として、全国の窯を訪問。

1972年 焼きものに関する様々な疑問を検証するため、東京中野区に築窯(プロパンガス窯)。

1973年 第1回個展「陶土塊展」を東京日本橋丸善画廊で行う。

1974年 陶芸史上において唯一の謎とされていた「曜変」のメカニズムを解明。

より高次元の「多様な輝変」(輝変は、北の造語)の創造に成功する。

焼きものに新概念「顕在美」「潜在美」「共存美」「限定美」を提唱し、作品に具体化。

1978年 「陶芸入門」鶴書房

1980年 「北一明 鎮魂彫塑・陶芸展」(広島そごう)を行う。

1982年 『ある伝統美への反逆』三一書房

82年から87年にかけて「北一明 彫塑・陶芸北アメリカ巡回展」(主催・北一明展北米招致委員会 代表 M.ローエンタール)を行う。

(ニューヨーク・ブルックリン美術館カナダ国立グレート・ヴィクトリア美術館など北米主要都市を巡回)

1983年 『新焼きもの入門』主婦と生活社

1984年 法政大学多摩キャンパス4号館(社会学部棟)に平和を希求する陶壁モニュメントを制作。

84年から87年にかけて「北一明 彫盟・陶芸展」(主催・ポーランド文化省)。

(ポーランド国内主要10都市を巡回)

1985年 『炎の造形焼きもの新入門』山海堂

『造形と総合美 焼きもの新入門』山海堂

新しい哲学思想「民饌」(北の造語)を提言。核時代及び地球の未来とその在り方に対峙した新しいヒューマニズムに基づく新次元の創造活動を多元的に開始する。

1987年 87年から88年にかけて知識人、美術館関係者を中心とするアメリカ・カナダの人々により、ノーベル平和賞に推挙される。

『炎道夢幻 北一明芸術の世界』主婦と生活社

1988年 『味と器の行方』生活ジャーナル社

1990年 「北一明 創造美の世界展」(主催・中国上海市文化局)を上海で行う。

(4日間の有料の個展に1万人が来場)

上海師範大学顧問教授に就任。

1991年 「北一明学研究センター」設立(上海師範大学内)。中国各地より招聘される。

この間、北京・人民大会堂、釣魚台国賓館、上海博物館、上海魯迅記念館などに作品収蔵。

- 1992年 「北一明 創造美展—創造 20周年記念」(銀座ミキモト)を行う。
「北一明 創造美の世界展」(主催・北京・中央工芸美術学院、中国美術家協会)を北京革命博物館で行う。
- 「陶 9 北一明」京都書院
- 1993年 アメリカ・ペンシルベニア州 州都ハリスバーグ市名誉市民となる。
「あなたは、芸術の分野でだれよりも平和に貢献した。」
- 1997年 K美術館開館を祝し、来館。(同館は2012年12月25日閉館)
- 1999年 月刊誌「世界」5月号「核廃絶と輝変表現」(インタビュー)
- 2012年 10月19日死去。78歳。